

ワイドショーより面白い 幕末明治の浮世絵

話題提供者 菅原 真弓
 (「教養の森」センター准教授)

「江戸文化」のイメージが強い浮世絵ですが、実はこれが終焉を迎えるのは、日露戦争(明治37-38年)が終わった時のこと。浮世絵はそもそも「浮世」(=現世)を映し出すものでした。最新流行の風俗を描きとどめた浮世絵は、当初からメディアとしても機能します。そんな性格を持った浮世絵が幕末明治初期に描き出したのは、たとえば突然現れた異人たちや見たこともない洋館や蒸気機関車。新しいメディアである新聞とも奇妙なコラボを果たします。

現代の三面記事やワイドショーなど遙かに超えた「とんでもないメディア」であった幕末明治初期の浮世絵について、豊富なスライド画像とともに話します。

参加無料
 申込不要

日時 平成28年 3月16日 水 19:00 ~ 20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (平日終日無料)



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすく話します。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

※平成28年4月からのわだい浪切サロンは、決まり次第ホームページにて公開いたします。お楽しみに。

第78回「思春期心との向き方」のアンケートより

- ◇ 思春期の心理とその対応についてよくわかりました。ありがとうございました。(30代・女)
- ◇ 思春期の子どもがいます。思いあたることもたくさんありました。が、共働きで、一緒に過ごす時間が短い中、具体的に何をすればよいのか、もう少し聞きたかったかなと思いました。ありがとうございました。(40代・女)
- ◇ 思春期の子を持つので生活に沿ったテーマでした。講義を受けることがとても楽しかったです。
(40代・女)
- ◇ 例もたくさんお話していただいたので、とても分かりやすく、勉強になりました。3人の子育て中で、3人とも年や性格もそれぞれ違うので、悩みもたくさんありますが、今日のお話を心に、子どもたちが自信を持って生きていけるように頑張りたいと思います。(40代・女)
- ◇ アイデンティティの確立なく大人になることが、親としての自覚や子育ての不安も大きくなってきているのかと思いました。それが子どもに伝わってきているのだと思います。10代、20代でしっかり確立させるにはどのようにすればよいのか考えてしまいます。(60代)

🔊 わだい浪切サロン参加者の声

- ・ **大学の授業を体験**できたみたいでとても良かった。(10代・女性)
- ・ すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。(30代・女性)
- ・ **質疑応答の時間**があるのが良い。(60代・男性)
- ・ 終了後の**自由参加の懇親会**が楽しい。(60代・男性)

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel & Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>



🔍 岸和田サテライト

検索